

学修ガイド 2024年度

日本語教員養成課程



北海学園大学
Hokkai-Gakuen University

〈目次〉

北海学園大学日本語教員養成課程について [▶](#)

北海学園大学日本語教員養成課程履修規程 [▶](#)

開講科目一覧および年次配当

2017年度以降入学者 適用 [▶](#)

2016年度入学者 適用 [▶](#)

2014～2015年度入学者 適用 [▶](#)

2011～2013年度入学者 適用 [▶](#)

2005～2010年度入学者 適用 [▶](#)

日本語教員養成課程科目一覧 (2017年度以降入学生用) [▶](#)

日本語教員養成課程科目一覧 (2014～2016年度入学生用) [▶](#)

履修方法と履修上の注意 [▶](#)

受講料について [▶](#)

受講希望者に望まれること [▶](#)

受講生・卒業生の声 [▶](#)

北海学園大学日本語教員養成課程について

本学における日本語教員養成プログラムは、日本語非母語話者に対する日本語教員を育成する目的で1998年から行われ、2000年からは人文学部を窓口とする事務局や委員会体制を整備し正式な「課程」として発足しました。本課程のカリキュラムは、当初、1985年の文部省調査委員会報告による「日本語教員養成の標準的教育内容」を指針として策定されました。しかし、国内外の日本語学習者の増加と多様化など日本語教育を取り巻く状況が大きく変化したことを受け、文化庁日本語教員養成に関する調査会が新たな枠組みの広範囲にわたる教育内容を提示してきました(下の表を参照)。そこで、本学の課程においても文化庁による新教育内容の意義を認め、2005年の人文学部カリキュラム変更に関連させ、課程カリキュラムは大幅な改定に至りました。さらに、2014年からの新カリキュラム始動に伴い、本課程においても科目の新設、名称変更などがあります。また、2017年度から科目設定が5つの区分(下の表を参照)に沿った形で配分され、各区分の履修要件が若干変更しています。年度別の開講科目、履修単位数等詳しい内容は3～13頁を確認してください。

日本語教員の免許、資格は公的な制度として確立されているものではなく、資格の認定は日本語教員養成課程をもつそれぞれの教育機関に委ねられています。本大学の場合は、申請に基づき、大学卒業を前提として、課程の修了者に「日本語教員養成課程修了証」を授与しています。なお、日本語教育機関によっては教師資格として課程修了以外の要件も求められる場合がありますので、詳しくは課程担当教員に相談してください。

文化庁の教員養成に関する調査会答申「日本語教員養成において必要とされる教育内容」

(2000年3月30日公開された内容)

	領域	区分	内容	
コミュニケーション	社会・文化・地域に関わる領域	①社会・文化・地域	世界と日本	歴史/文化/文明/社会/教育/哲学/国際関係/日本事情/日本文学……
			異文化接触	国際協力/文化交流/留学生政策/移民・難民政策/研修生受入政策/外国人児童生徒/帰国児童生徒/地域協力/精神衛生……
			日本語教育の歴史と現状	日本語教育史/言語政策/教員養成/学習者の多様化/教育哲学/学習者の推移/日本語試験/各国語試験/世界各地の日本語教育事情/日本各地域の日本語教育事情……
	教育に関わる領域	②言語と社会	言語と社会の関係	ことばと文化/社会言語学/社会文化能力/言語接触/言語管理/言語政策/言語社会学/教育哲学/教育社会学/教育制度……
			言語使用と社会	言語変種/ジェンダー差・世代差/地域言語/待遇・ポライトネス/言語・非言語行動/コミュニケーション・ストラテジー/地域生活関連情報……
			異文化コミュニケーションと社会	異文化受容・適応/言語・文化相対主義/自文化(自民族)中心主義/アイデンティティ/多文化主義/異文化間トランス/言語イデオロギー/言語選択……
	言語に関わる領域	③言語と心理	言語理解の過程	言語理解/談話理解/予測・推測能力/記憶/視点/言語学習……
			言語習得・発達	幼児言語/習得過程(第一言語・第二言語)/中間言語/言語喪失/バイリンガリズム/学習過程/学習者タイプ/学習ストラテジー……
			異文化理解と心理	異文化間心理学/社会的スキル/集団主義/教育心理/日本語の学習・教育の情意的側面……
		④言語と教育	言語教育法・実習	実践的知識/実践的能力/自己点検能力/カリキュラム/コースデザイン/教室活動/教授法/評価法/学習者情報/教育実習/教育環境/地域別・年齢別日本語教育法/教育情報/ニーズ分析/誤用分析/教材分析・開発……
			異文化間教育・コミュニケーション教育	異文化間教育/多文化教育/国際・比較教育/国際理解教育/コミュニケーション教育/スピーチ・コミュニケーション/異文化コミュニケーション訓練/開発コミュニケーション/異文化マネジメント/異文化心理/教育心理/言語間対照/学習者の権利……
			言語教育と情報	教材開発/教材選択/教育工学/システム工学/統計処理/メディア・リテラシー/情報リテラシー/マルチメディア……
		⑤言語	言語の構造一般	一般言語学/世界の諸言語/言語の種類/音声の種類/形態(語彙)の種類/統語の種類/意味論の種類/語用論の種類/音声と文法……
			日本語の構造	日本語の系統/日本語の構造/音韻体系/形態・語彙体系/文法体系/意味体系/語用論的規範/表記/日本語史……
			言語研究	理論言語学/応用言語学/情報学/社会言語学/心理言語学/認知言語学/言語地理学/対照言語学/計量言語学/歴史言語学/コミュニケーション学……
			コミュニケーション能力	受容・理解能力/表出能力/言語運用能力/談話構成能力/議論能力/社会文化能力/対人関係能力/異文化調整能力……

北海学園大学日本語教員養成課程履修規程

(目的)

第1条 この規程は、北海学園大学（以下「本大学」という。）の学則第51条の2に基づき、日本語教員養成課程（以下「課程」という。）の授業科目、単位、履修方法に関する事項を定める。

(授業科目)

第2条 課程の授業科目、単位数及び年次配当並びに必修科目、選択科目の区別は、学則別表12(1)及び(2)のとおりとする。

(履修願)

第3条 課程の授業科目を履修しようとする者は、所定の期間内に、受講料等を納入し、「履修願」を提出して、その許可を受けなければならない。

(単位の修得)

第4条 単位を修得するためには、履修した授業科目の試験等に合格しなければならない。

(試験)

第5条 試験は、原則として、その授業科目の授業が終了した学期末毎に行なう。

(成績の評価)

第6条 授業科目の成績評価は、秀、優、良、可及び不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。ただし、この成績評価になじまない一部の科目は、合、否とする。

(修了要件)

第7条 本大学の学生が課程を修了するためには、卒業に必要な単位を修得し学士の学位を授与される者で、別表12の授業科目のうち、必修・選択科目を含み、32単位以上を修得しなければならない。

(修了証書の授与)

第8条 学長は、課程の授業科目を履修し、修了に必要な単位（32単位以上）を修得した者に、申請に基づいて本大学所定の修了証書を授与する。

(受講料等)

第9条 課程の授業科目を履修する者は、本大学学則別表14(9)に定める受講料等を納入しなければならない。

(科目等履修生)

第10条 本大学の科目等履修生規程に基づいて入学した者は、当該学部及び課程委員会の許可を得て、課程の授業科目を履修することができる。

2 科目等履修生が一年間に履修できる単位数は28単位以内とする。

3 科目等履修生で別表12(1)、(2)の授業科目のうち、必修・選択科目を含み、32単位以上修得した者には、本大学所定の修了証書を授与する。

附 則

1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。

2 ただし、この規程は、平成10年度以降入学者（科目等履修生は除く。）から適用する。

附 則

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 ただし、平成16年度以前入学生については従前の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

2 ただし、平成23年度以前の入学者については従前の規則による。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

日本語教員養成課程修了要件

2017年度以降入学者適用

社会・文化・地域	8 単位以上
言語と社会	2 単位以上
言語と心理	2 単位以上
言語と教育	10単位以上
言語	10単位以上
合計	32単位以上

2016年度以前入学者適用

言語領域（言語）	10単位以上
言語領域（外国語）	2 単位以上
教育領域	12単位以上
社会・文化・地域領域	8 単位以上
合計	32単位以上

2016 年度入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
 ×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分	
		1	2	3	4	計	経 済	地 域 経 済	経 営	法 律	政 治	日 本 文 化	英 米 文 化			
○ ○	言語領域 (言語)															
	世界の言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○		必修4単位含み 10単位以上必修	一般教育科目
	言語学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目
	言語学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目
	日本語学 概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 V			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
	日本語学 特論 VI			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目
対照言語学 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目		
対照言語学 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目		
英語学 概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目		
英語学 概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目		
言語領域 (外国語)														2単位以上必修		
英語コミュニケーション I	1				1	○	○	○	○	○	○	○		} 人文学部の学生 のみを対象に開講	一般教育科目	
英語コミュニケーション II	1				1	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
CommunicationSkills I	2				2	×	×	×	×	×	○	○			人文学部専門科目	
CommunicationSkills II	2				2	×	×	×	×	×	○	○			人文学部専門科目	
教育領域																
コンピュータ科学	2				2	×	×	×	○	○	○	○		必修8単位含み 12単位以上必修	一般教育科目	
日本語教授法 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教授法 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教授法 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教授法 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教育学 特論			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教育 演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
日本語教育 特別演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			人文学部専門科目	
社会・文化・地域領域																
人間関係論	2				2	○	○	○	○	○	○	○		8単位以上必修	一般教育科目	
日本文学	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
歴史学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
歴史学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
歴史学 III	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
歴史学 IV	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
国際事情	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○			一般教育科目	
日本文学史 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○			} 英米文化学科の 学生は2年次開講	人文学部専門科目
日本文学史 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
日本文化 概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
日本文化 概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
日本文化 概論 III	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
日本文化 概論 IV	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
ヨーロッパ文化 概論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
キリスト教文化論	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
アイヌ文化論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
アイヌ文化論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
アジア地域論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目
アジア地域論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○		人文学部専門科目		
計	50	18	18	0	86											

2014～2015 年度入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
 ×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科							備 考	開 講 区 分			
		1	2	3	4	計	経 済	地 域 経 済	経 営	法 律	政 治	日 本 文 化	英 米 文 化					
○ ○	言語領域 (言語)																	
	世界の言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○				必修4単位含み 10単位以上必修	一般教育科目
	言語学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目
	言語学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目
	日本語学概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	日本語学概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	日本語学特論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	日本語学特論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	日本語発声実習	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	対照言語学	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	英語学概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
	英語学概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目
言語領域 (外国語)																		
オーラルコミュニケーション I	1				1	○	○	○	○	○	○	○				2単位以上必修 } 人文学部の学生のみを対象に開講	一般教育科目	
オーラルコミュニケーション II	1				1	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
CommunicationSkills I	2				2	×	×	×	×	×	○	○					人文学部専門科目	
CommunicationSkills II	2				2	×	×	×	×	×	○	○					人文学部専門科目	
教育領域																		
コンピュータ科学	2				2	×	×	×	○	○	○	○				必修8単位含み 12単位以上必修	一般教育科目	
日本語教授法 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教授法 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教授法 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教授法 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教育学特論			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教育演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本語教育特別演習			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
社会・文化・地域領域																		
人間関係論	2				2	○	○	○	○	○	○	○				8単位以上必修 } 英米文化学科の学生は2年次開講	一般教育科目	
日本文学	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
異文化コミュニケーション	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
歴史学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
歴史学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
歴史学 III	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
歴史学 IV	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
国際事情	2				2	×	×	○	○	○	○	○					一般教育科目	
アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○	○					一般教育科目	
日本文学史 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本文学史 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本文化概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本文化概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本史概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
日本史概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
ヨーロッパ文化概論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
キリスト教文化論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
アイヌ文化論 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
アイヌ文化論 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
アジア地域論 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○					人文学部専門科目	
アジア地域論 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	○				人文学部専門科目		
計		50	18	18	0	86												

2005～2010 年度入学者 適用

2 部

【対象学科欄の記号について】 ○…所属学科で開講されている科目 日語…日本語教員養成課程科目として開講されている科目
×…開講されていない（履修できない）科目

○印必修	授 業 科 目	年次及び単位数					対 象 学 科						備 考	開 講 区 分		
		1	2	3	4	計	法律	政治	経済	地域経済	経営	日本文化			英米文化	
○ ○	言語領域 (言語)															
	言語学 I	2				2	○	○	○	○	○	○	○	必修4単位含み 10単位以上必修	共通基礎科目	
	言語学 II	2				2	○	○	○	○	○	○	共通基礎科目			
	世界言語文化概説	2				2	×	×	○	×	○	○	共通基礎科目			
	専門言語学		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	日語	人文学部英米文化学科専門科目			
	日本語学概論 I	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目			
	日本語学概論 II	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目			
	日本語学 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部日本文化学科専門科目			
	日本語学 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部日本文化学科専門科目			
	日本語史		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部日本文化学科専門科目			
対照言語学		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目				
日本語発声実習	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部日本文化学科専門科目				
日本語表現法	2				2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部日本文化学科専門科目				
○ ○ ○ ○	言語領域 (外国語)															
	オーラルコミュニケーション I	1				1	○	○	○	○	○	×	2単位以上必修 英米文化学科以外 の学生を対象 に開講 英米文化学科の 学生のみを対象 に開講	共通基礎科目		
	オーラルコミュニケーション II	1				1	○	○	○	○	○	×		共通基礎科目		
	Listening I	1				1	×	×	×	×	×	×		人文学部英米文化学科専門科目		
	Listening II	1				1	×	×	×	×	×	○		人文学部英米文化学科専門科目		
	Speaking I	1				1	×	×	×	×	×	○		人文学部英米文化学科専門科目		
Speaking II	1				1	×	×	×	×	×	○	人文学部英米文化学科専門科目				
○ ○ ○ ○	教育領域															
	コンピュータ科学	2				2	○	○	×	×	×	○	必修8単位含み 12単位以上必修	共通基礎科目		
	日本語教授法 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
	日本語教授法 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
	日本語教授法 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
	日本語教授法 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
	異文化理解論		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部英米文化学科専門科目		
	異文化間教育学		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
日本語教育演習 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目				
日本語教育演習 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目				
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	社会・文化・地域領域															
	コミュニケーション論 I	2				2	○	○	○	○	○	○	8単位以上必修	共通基礎科目		
	コミュニケーション論 II	2				2	○	○	○	○	○	○		共通基礎科目		
	日本近現代史論	2				2	○	○	○	○	○	○		共通基礎科目		
	日本文学	2				2	○	○	○	○	○	○		共通基礎科目		
	国際事情	2				2	○	○	×	×	○	○		共通基礎科目		
	アイヌの言語と文化	2				2	○	○	○	○	○	○		共通基礎科目		
	日本文学史 I		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本文学史 II		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本文学史 III		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本文学史 IV		2			2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本史概論 III			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	※		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本史概論 IV			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	※		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本文化史 I			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	日本文化史 II			2		2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部日本文化学科専門科目		
	アイヌ文化論 I				2	2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
	アイヌ文化論 II				2	2	日語	日語	日語	日語	日語	○		人文学部専門科目		
宗教文化論				2	2	日語	日語	日語	日語	日語	○	人文学部専門科目				
計		42	24	16	0	82										

※2008年度以前入学生は「日語」、2009年度以降入学生は「○」

日本語教員養成課程科目一覧（2017年度以降入学生用）

【1部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授業科目	単位	担当教員名	開講年次	補 足 等
	①			-	Communication Skills I	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②			-	Communication Skills II	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	5	17115	アイヌ文化論 I	2	高橋 靖以	2	
	②	水	5	17116	アイヌ文化論 II	2	高橋 靖以	2	
	①	月	5	17117	アジア地域論 I	2	小坂みゆき	3	
	②	月	5	17118	アジア地域論 II	2	廣田千恵子	3	
	①	金	2	17125	英語学概論 I	2	上野 誠治	2	
	②	金	4	17126	英語学概論 II	2	田中 洋也	2	
	②	金	2	17127	英語学特論 I	2	上野 誠治	3	
	②	火	3	17128	英語学特論 II	2	田中 洋也	3	
	①	金	4	17178	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	①	水	2	17424	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	水	4	17432	日本語学概論 I	2	南 明世	1	
○	②	水	4	17433	日本語学概論 II	2	南 明世	1	
	②	水	5	17434	日本語学特論 I	2	南 明世	3	
	①	木	3	17435	日本語学特論 II	2	徳永 良次	3	
	①	火	5	17436	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	5	17437	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	5	17438	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	金	2	17439	日本語教授法 I	2	丸島 歩	2	
○	②	金	2	17440	日本語教授法 II	2	丸島 歩	2	
○	①	水	1	17441	日本語教授法 III	2	森 良太	3	
○	①	水	2	17442	日本語教授法 III	2	森 良太	3	
○	②	水	1	17443	日本語教授法 IV	2	森 良太	3	
○	②	水	2	17444	日本語教授法 IV	2	森 良太	3	
	②	月	4	17448	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	金	2	17457	日本史概論 I	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	金	2	17458	日本史概論 II	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	金	4	17461	日本文化概論 I	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	5	17462	日本文化概論 II	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	水	3	17463	日本文学史 I	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	月	3	17464	日本文学史 II	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	火	5	17511	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。
 ※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

【2部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授業科目	単位	担当教員名	開講年次	補足等
	①	-	-	-	Communication Skills I	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②	-	-	-	Communication Skills II	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	1	18115	アイヌ文化論 I	2	高橋 靖以	2	
	②	水	1	18116	アイヌ文化論 II	2	高橋 靖以	2	
	①	月	1	18117	アジア地域論 I	2	小坂みゆき	3	
	②	月	1	18118	アジア地域論 II	2	廣田千恵子	3	
	①	木	1	18125	英語学概論 I	2	上野 誠治	2	
	②	金	1	18126	英語学概論 II	2	田中 洋也	2	
	②	木	2	18127	英語学特論 I	2	上野 誠治	3	
	②	火	1	18128	英語学特論 II	2	田中 洋也	3	
	①	水	2	18178	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	②	月	1	18424	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	木	1	18432	日本語学概論 I	2	徳永 良次	1	
○	②	木	1	18433	日本語学概論 II	2	徳永 良次	1	
	①	土	2	18434	日本語学特論 I	2	南 明世	3	
	①	水	1	18435	日本語学特論 II	2	徳永 良次	3	
	①	火	1	18436	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	1	18437	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	2	18438	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	月	2	18439	日本語教授法 I	2	丸島 歩	2	
○	②	月	2	18440	日本語教授法 II	2	丸島 歩	2	
○	①	木	1	18441	日本語教授法 III	2	歌代 崇史	3	
○	②	木	1	18442	日本語教授法 IV	2	歌代 崇史	3	
	②	月	1	18447	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	水	1	18457	日本史概論 I	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	2	18458	日本史概論 II	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18461	日本文化概論 I	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	1	18462	日本文化概論 II	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18463	日本文学史 I	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	土	1	18464	日本文学史 II	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	火	2	18511	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

日本語教員養成課程科目一覧（2014～2016年度入学生用）

【1部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授業科目	単位	担当教員名	開講年次	補足等
	①			-	Communication Skills I	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②			-	Communication Skills II	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	5	17115	アイヌ文化論 I	2	高橋 靖以	2	
	②	水	5	17116	アイヌ文化論 II	2	高橋 靖以	2	
	①	月	5	17117	アジア地域論 I	2	小坂みゆき	3	
	②	月	5	17118	アジア地域論 II	2	廣田千恵子	3	
	①	金	2	17125	英語学概論 I	2	上野 誠治	2	
	②	金	4	17126	英語学概論 II	2	田中 洋也	2	
	①	金	4	17178	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	①	水	2	17424	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	水	4	17432	日本語学概論 I	2	南 明世	1	
○	②	水	4	17433	日本語学概論 II	2	南 明世	1	
	②	水	5	17434	日本語学特論 I	2	南 明世	3	
	①	木	3	17435	日本語学特論 II	2	徳永 良次	3	
	①	火	5	17436	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	5	17437	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	5	17438	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	金	2	17439	日本語教授法 I	2	丸島 歩	2	
○	②	金	2	17440	日本語教授法 II	2	丸島 歩	2	
○	①	水	1	17441	日本語教授法 III	2	森 良太	3	
○	①	水	2	17442	日本語教授法 III	2	森 良太	3	
○	②	水	1	17443	日本語教授法 IV	2	森 良太	3	
○	②	水	2	17444	日本語教授法 IV	2	森 良太	3	
	②	月	4	17448	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	金	2	17457	日本史概論 I	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	金	2	17458	日本史概論 II	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	金	4	17461	日本文化概論 I	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	5	17462	日本文化概論 II	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	水	3	17463	日本文学史 I	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	月	3	17464	日本文学史 II	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	火	5	17511	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

【2部】

必修	学期	曜日	時限	履修コード	授業科目	単位	担当教員名	開講年次	補足等
	①	-	-	-	Communication Skills I	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	②	-	-	-	Communication Skills II	2	-	1	人文学部専門教育科目講義概要参照
	①	水	1	18115	アイヌ文化論 I	2	高橋 靖以	2	
	②	水	1	18116	アイヌ文化論 II	2	高橋 靖以	2	
	①	月	1	18117	アジア地域論 I	2	小坂みゆき	3	
	②	月	1	18118	アジア地域論 II	2	廣田千恵子	3	
	①	木	1	18125	英語学概論 I	2	上野 誠治	2	
	②	金	1	18126	英語学概論 II	2	田中 洋也	2	
	①	水	2	18178	キリスト教文化論	2	佐藤 貴史	2	
	②	月	1	18424	対照言語学	2	岸本 宜久	2	
○	①	木	1	18432	日本語学概論 I	2	徳永 良次	1	
○	②	木	1	18433	日本語学概論 II	2	徳永 良次	1	
	①	土	2	18434	日本語学特論 I	2	南 明世	3	
	①	水	1	18435	日本語学特論 II	2	徳永 良次	3	
	①	火	1	18436	日本語教育演習	2	竜野征一郎	3	
	①	月	1	18437	日本語教育学特論	2	藤原 安佐	3	
	②	集	2	18438	日本語教育特別演習	2	丸島 歩	3	
○	①	月	2	18439	日本語教授法 I	2	丸島 歩	2	
○	②	月	2	18440	日本語教授法 II	2	丸島 歩	2	
○	①	木	1	18441	日本語教授法 III	2	歌代 崇史	3	
○	②	木	1	18442	日本語教授法 IV	2	歌代 崇史	3	
	②	月	1	18447	日本語発声実習	2	竜野征一郎	1	
	①	水	1	18457	日本史概論 I	2	片岡 耕平	1	英米文化学科は2年次開講
	②	水	2	18458	日本史概論 II	2	郡司 淳	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18461	日本文化概論 I	2	鈴木 英之	1	英米文化学科は2年次開講
	②	火	1	18462	日本文化概論 II	2	吉村 悠介	1	英米文化学科は2年次開講
	①	木	1	18463	日本文学史 I	2	関本 真乃	1	英米文化学科は2年次開講
	②	土	1	18464	日本文学史 II	2	田中 綾	1	英米文化学科は2年次開講
	①	火	2	18511	ヨーロッパ文化概論	2	堀 雅彦	2	

※この一覧に掲載されていない科目については、一般教育科目用の講義概要を参照してください。

※教室は履修登録前は時間割から確認してください。登録後の最新の情報は、G-PLUS!で確認してください。

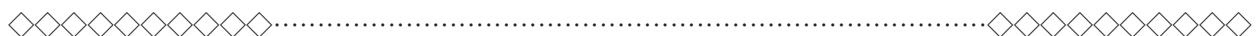
受講料について

本学の日本語教員養成課程を履修する場合、学則第51条の2に従い、受講料等を納入することになります。但し、人文学部学生には受講料は免除されます。

入学検定料（本学卒業者免除）		30,000円
入 学 金（本学卒業者免除）		50,000円

受 講 料	在学生（人文学部以外）	30,000円
	卒業生	
	（本学及び他大学卒業）	9,000円（1単位）

修了証書手数料		5,000円



受講希望者に望まれること

1987年に制定された日本語教員検定制度では、日本語教員には「国際的感覚と幅広い教養、豊かな人間性、日本語教育に関する専門的知識・能力等の資質・能力」が要求されるとあります。その後、2000年になって教員養成の教育内容に新たな視点が加わりました。それは、日本語教育を広い意味でのコミュニケーションと捉える考え方で、ガイドラインにあるように、「社会・文化・地域」、「教育」、「言語」の三領域をさらに5区分に分けた教育内容【①社会・文化・地域、②言語と社会、③言語と心理、④言語と教育、⑤言語】がコミュニケーションにつながるというものです。教授者と学習者が互いに学び、教え合うことが基本的なコミュニケーション活動であるとした上で、コミュニケーションを軸とする幅広い学問分野への関心を求めています。また、「言語と教育」の区分にある「実習」の重要性も指摘されています。2016年11月法務省による国内の日本語教育機関に対する告示の中にも、「実習」が日本語教員の要件の一つであることが示されています。本学の課程においては、開講科目の中に実習を含む授業のほか、国内・海外で実習を経験できる機会もありますので、積極的に実践の場を得よう努めてほしいと思います。

本課程で開講されない科目で、教員養成に必要とされる教育内容（一覧表参照）は自主的に学習することを勧めます。それ以外では、外国語の知識と能力を身につけることが必要です。英語はもちろんのこと、韓国、中国ほかのアジアの言語でもコミュニケーションができることは理想ですが、少なくとも基本的な知識と運用能力は必要です。また、コミュニケーションの基本をなす日本語学、言語学はこれからも是非、引き続き学習を続けてください。

日本語教員を目指す仲間同士で、自主ゼミ等を組織し主体的に学びあうことは有意義です。また、本学の留学生との交流も体験し、彼らに対する日本語学習支援も皆さんにとっては学びにもなります。関連教員もできる限り協力を惜しまないつもりです。

積極的に学習機会を求め、より一層の自己研鑽に努めていきましょう。

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を履修して

齊藤 しほ (2021年英米文化学科卒業)

私が日本語教員養成課程を履修するきっかけとなったのが、新入生ガイダンスでの養成課程の説明会でした。もともとは英語をもっと勉強し、発展途上で仕事をするのが夢だったため、この課程を履修することで将来何らかの役に立つだろう、その程度にしか考えていませんでした。

日本語教師という道を少しずつ考え始めたのは、2年生の初め頃です。2年生になって受講した授業で日本語ボランティア教室の存在を知り、参加させてもらうことになったのです。今でも参加し続けているこの日本語教室で学ぶことは多く、日本語学習者と接するうちに、将来は日本語教育に携わりたいと強く思うようになっていきました。

日本語教室で日本語を教え始めて2年目の夏に、中国への7カ月の派遣プログラムのお話をいただきました。私自身、この派遣に参加すれば卒業が1年遅れること、また日本語教室で他の先生方に助けてもらいながら行う授業が精一杯で、まだ海外で教えられるほどの実力は無いと最初は迷いましたが、やはり将来のことを考えればこんな機会は二度とないと思い、参加させてもらうことにしました。

派遣先は雲南省の昆明にある、雲南師範大学でした。昆明は「春の街」とも呼ばれており、夏は少し暑いくらいですが、とても住みやすい素敵なおところでした。師範大学では、私が今まで日本語教室で見てきた授業方法とほぼ全てが異なっており、最初から、自分自身が日本語教師として学ぶことばかりでした。学生は一生懸命で、分からない文法についての質問や、学生自身が、自分の使う日本語に誤りがないか、発音に問題はないか、というようなことを毎日聞いてくるのです。

私自身の知識不足のせいですぐに答えられない質問も何度もありましたが、今振り返ると、あの7カ月でのあの経験こそ、私が将来絶対に日本語教師になりたい、という気持ちを固めてくれたんだと思います。

中国の派遣が終わり帰国すると、ありがたいことに、次はミャンマーへの2週間の派遣のお話をいただきました。この時は休学中で、仕事と日本語教室以外に何もしていなかったため、こちらもすぐに参加の意思を伝えました。

ミャンマーでは、中国で学んだことを活かした授業を行うことができ、さらに新しい発見と学びがあり、2週間と短い時間ではありましたが、参加できて本当に良かったです。

日本語教師養成課程の履修を考えているみなさん、日本語教師になれば、その先には素敵な夢が沢山あると、私は思います。ぜひ、履修してみてください。



ミャンマーでの日本語授業



中国雲南師範大学で学生達と

❖❖❖❖❖❖ 受講生・卒業生の声 ❖❖❖❖❖❖

日本語教員養成課程で、ことばの専門家を目指しませんか？

金田一志帆（2015年日本文化学科卒業）

国語教員の免許を取るために入学した大学で、はじめは「日本語教員」すらぼんやりとしか知らなかった私は、ある日、教授から日本語ボランティア団体をご紹介いただき活動を始めると、こんな衝撃を受けました。

言語を学ぶ人たちって、なんてコミュニケーションに一生懸命なのだろう！

それで、日本語を学ぶ彼らに正しい知識を伝えたいと思い、これまで受けてきた授業内容を振り返りました。するともう、日本語が面白くておもしろくて、伝えずにはいられなくなってしまいました。ほら、たとえば“今日はカレーでいい”と言ったら、“カレーがいい”でないと妥協に聞こえてトラブルになるような話は有名ですね。たった一文字違うだけで、前後の状況や文意がガラッと変わってしまうところ、面白いと思いませんか。それを言い出したら「sun」と「son」も一文字違いじゃないかと言われたこともあります。それは単語レベルの話。ちょっと規模が違います。といっても私は世界の言語を網羅していないので、この特徴は日本語に限った話ではないかもしれませんが、悪しからずということでご容赦ください。

そんな私は今、オンラインで言語教育をしたり、専門学校でベトナム人へ日本語を教えたりしています。あなたはベトナム語を見たことはありますか？ 聞いたことは？ 話したことは？ きっと、あんまりないですよ。ベトナム語は同じ「a」でも記号を書き加えることによって発音（声調というそうです）が分かれるらしく、母音は12音もあるそうですよ。こう聞いたとき、日本語の倍以上の母音を使い分けることを想像できますか。口の中の動き、どうなっているのでしょうか。同じ人間なのに、もしかして彼らは、こう……舌が長い、とか。舌の付け根の筋肉が発達しているのかな、とか。どんどん彼らに対して興味が湧いてきます。それで、やはり口や息の使い方が全く異なるので、彼らはたとえば「いつ」を発音すると「いちゅ」になってしまうのです。可愛らしいですね。

気になる人や国ができれば、まずはその国の言葉を学ぶでしょう。人や文化に興味を持ち、深く知りたと思った場合、最初に必要となるのは共通の言語であると思います。「ディズニーが好きで英語が話せるようになった」とか、「K-POPを聞いてハングルを使いこなせるようになった」とか。あなたもそんな経験があるのではないのでしょうか。

コミュニケーションの入り口は言語です。日本語教員は、その最前線に立つ仕事です。こんなに発見のある毎日を過ごせる仕事は他にないと思うのです。

また、日本語教員養成課程での学びは、私が国語教員をしていた時にも活躍しました。「日本語って難しい」と言う生徒には、「○○語にはこんな難しい特徴あるの知ってる？」と話せます。日本語の、より正しい知識をもって授業ができるので、「あ、この表現にはこの文法が使われているから、豆知識として伝えよう」などとアイデアが浮かんでくるようになります。

とどのつまり、あなたにはこれを機に日本語についての専門知識を深め、発見のある毎日を楽しんでほしいと思うのです。ぜひ、日本語教員養成課程を履修して「ことばの専門家」を目指してみてください。

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を受講して

小里美津希（2018年地域経済学科卒業）

私が日本語教育に興味を持ったきっかけは、留学をしていた際に現地の高校で日本語授業アシスタントのボランティアを行ったことです。その際に、自分の母語である日本語を他国の方が勉強をしてくれているという事がとても嬉しく、日本語に興味を持っていてくれる方の手助けをしたいと言う気持ちが芽生えました。帰国後、北海学園大学に「日本語教員養成課程」があることを知りました。人文学部の方が受講していることが多い課程ですが、他学部でも受講することができることを知り、人文学部の中川先生に相談をさせていただきながら、受講を決めました。私の場合、卒業までの1年間で修了に必要な単位を取得する必要があり、就職活動しながらの受講は大変なことも多々ありましたが、周りの方の協力を得ながら、なんとか課程を修了することができました。

また春休み期間中には、カーディフ大学での日本語教育実習にも参加させていただきました。それまで実習経験がなかった私は、とても不安を抱えておりましたが、カーディフ大学の百濟先生より、日本語教育について多くの事をご教授いただき、実際に学生を前に授業を行いました。授業をした際には、上手く説明ができず落ち込むこともありましたが、先生や周りの学生にフィードバックをいただきながら、多くの事を吸収することができました。何より、生徒が私の授業に耳を傾け、日本語で対話してくれたことがとても嬉しかったです。約1ヵ月と短い期間でしたが、今でもカーディフ大学での生活は鮮明に覚えている程、充実した日々を過ごすことができました。

現在は、日本語教育とは関わらない仕事をしておりますが、いつか日本で社会人として働いた経験を活かし、語学だけではなく、日本について色々発信ができる日本語教師になることが目標です。日本語教育課程の授業は、経済学部でも面白いと感じる授業ばかりでしたので、人文学部以外の方でも、興味があれば是非受講されることをお勧め致します。



英国カーディフ大学で学生達と（右から3番目が私です）

受講生・卒業生の声

日本語教師になるまでの道のり

田澤あす美(2020年文学研究科修士課程 日本文化専攻修了)

日本語教員養成課程要項をご覧の皆様、こんにちは。僣越ながら、私の日本語教師になるまでの道のりをここでご紹介させていただきます。北海学園大学を卒業後、私はすぐにオーストラリアのメルボルンにある民間の日本語学校で日本語教師として有給インターンシップのプログラムに参加しました。日本語教育の需要が高いのはアジアですが、初めて海外で働く私は、一度旅行で行ったことがあるオーストラリアの方が安心でしたので、行くことを即決し、そこで初めて「先生」と呼ばれるようになりました。

契約期間が終わり、帰国後、私は日本語教師の職を探そうとせず、アパレルのお仕事を始めました。日本語教師の仕事はとても楽しかったのですが、授業をするために教科書を読みこんだり、教材を用意したりとかなり大変でしたから、少しお休みしたかったのが正直なところでした。しかし、自ら日本語教育から遠ざかったのに、アパレルのお仕事が休みの日は、ボランティアで日本語を教えていました。そしてそんな生活をしている間に自分がどちらの仕事の方が好きか嫌でもわかってきて、私はまた「先生」と呼ばれる生活を選びました。

次に行ったのはインドで、これはJICA青年海外協力隊の日本語教育隊員として国立大学に派遣されました。コルカタ空港から車でどんどん田舎へ進んで4時間のところに派遣先があり、『こんなところで日本語を勉強している人がいるのか』という不安が付きまとう道中でしたが、そこには100人以上の日本語を勉強している学生たちが出迎えてくれました。彼らは日本企業に入ることを目指し、日本語を勉強しており、私も日本企業に必要とされる人材を育成しなくてはという使命感で時には厳しく指導していました。特に時間には口うるさかったので、のんびりとした田舎町で育った学生たちはみんな戸惑っていました。私の任期も終わろうとしている時、一人の学生が「あなたが授業で私たちにしてくれたことは、すべて私たちを思っただけのことです」のメッセージをもらうまでは私も自分の指導に迷いがあったのですが、自分の思いが伝わっていて本当に嬉しかったです。

今、私は日本語教師として更なるステップアップのため、北海学園大学に戻ってきて、修士課程を履修しています。修士生として過ごしながらも、他大学の留学生と民間企業の技能実習生に日本語を教えているので「先生」と呼ばれています。「先生」と慕われることが何よりも喜びであり、この喜びが一生続くことを願っています。



留学生に対する日本語授業

受講生・卒業生の声

日本語教員養成課程を修了してからの歩み

守岡(井上)みのり (2017年文学研究科修士課程 日本文化専攻修了)

こんにちは。私は2008年に人文学部日本文化学科に入学し、2012年3月に卒業するまでの間、本学の日本語教員養成課程を履修しました。養成課程でどのようなことが学べるのかは先生方が詳しいですから、ここでは卒業から現在まで、日本語教師として私がどのような経緯を経たのかについて簡単に記します。

2012年当時、卒業を控えていた私は「日本語教師として、日本語を外国語として学ぶ人たちと接し国内外で教えていくのであれば、一度は海外へ出てみたい。日本語以外の言語を学びたい」と思いました。そこでアメリカのオレゴン州、ポートランド市にて、日・英語のバイリンガル教育を施す小学校でアシスタントを務めました。初めての海外での生活、ホストファミリーとの交流、教育現場での経験は、その後の自分の仕事を決定付けるものとなりました。2013年からは札幌市にて派遣の仕事で学費を貯め、2014年からは日本語教育の更なる専門的知識の会得のため、本学の大学院文学研究科に入学しました。在学中の2015年から2016年にかけては、国際交流基金のプログラムにより、本学の提携大学であるカナダのレスブリッジ大学へ留学し、中高生、大学生ヘイインターンとして日本語を教えました。2016年に帰国したのちは、短期で立命館慶祥高校の留学生に日本語を教え、2017年にはマンガを日本語教材として検討し、マンガに現れるジェンダー表現を分析するというテーマで修士論文を提出し、修士号を得るに至りました。

修士号以上の学歴を有していると、海外の大学でも教えることができるようになります。そこで同年には、中国の山東省、済南大学にて日本語講師として日本語科の学生に「会話」や「聴解」「日本事情」などの科目を中心に日本語を教えました。日々の授業も大変面白く、更に大学の日本語クラブ、済南日本人教師会の勉強会、中国全土の大学生を対象とした「中華杯日本語スピーチコンテスト」の指導など、行事が盛り沢山でした。2018年には、さらに博士課程の進学を視野に、本学文学研究科の研究生として在籍し、中国の大学での実践を踏まえた論文を音声指導の観点から進めています。

2019年現在は、北海道に来た外国人技能実習生へ日本語を教えています。今後は引き続き本学の研究生として研究を進め、春からは北海道大学の留学生センターにて多国籍の留学生へ日本語を教えながら、研究者・日本語教師としてキャリアを積んでいきたいと考えています。



レスブリッジ大学学生への日本語授業風景